

深川消防団ニュース



さきもり

発行 深川消防団
所在地 〒135-0042
東京都江東区木場
3丁目18番10号
深川消防団本部
TEL:03-3642-0119
FAX:03-3641-4422

2020東京オリンピック・パラリンピック 警戒終了報告



ご挨拶

第10分団長 田島 ヒロ子

「自らの街は自ら守る」深川消防団
が守る江東区には、競技会場がなんと
10か所もあります。

そこではオリンピック12競技とパラ
リンピック8競技が実施されました。

そして200以上の国と地域からア
スリートが集い、競い合い活躍する稀
にみる大規模なイベントでした。これ
に我々消防団が参加できた事は、貴重
な経験であり、とても幸運だったので
はないでしょうか。

我々消防団員は、警戒活動をするこ
とで少しでも地域に役立ちたい、微力
ながらも貢献したいという気持ちか
ら参加していたと思います。

各団員は高い意識を持って、安全安
心を目指して取り組んだ結果、大きな
事故もなく無事に完遂できたのだと思
います。

深川消防団一同この気持ちを踏まえ、
さらなる精進を重ね消防団活動に尽力
していく所存です。



深川消防署 新署長挨拶

(令和3年4月1日)



深川消防署長
消防監
平本 隆司

4月1日付の定期人事異動で、第61代深川消防署長を拝命いたしました。ご挨拶が大変遅くなりましたが、どうぞよろしくお願いたします。

深川消防署は明治14年に東京で最初に設置された6つの消防署の1つ、消防第6分署として誕生し、この令和3年6月1日で開署140周年を迎えることができました。また、深川消防署管内の数多くの競技場において、東京2020オリンピック・パラリンピック大会の熱戦が繰り広げられた年でもありました。この記念すべき年に当署の署長を務めさせていただくことができ、また、町火消、消防組由来の歴史ある深川消防団の皆様と一緒に街の安全を守っていく仕事ができます、この上ない光栄を感じている次第です。世界でまん延を続けるコロナ禍の中、他の消防団と同様、深川消防団も大きな行事の自粛、制限を余儀なくされており、消防署と合同の訓練等も例年どおり実施できない厳しい状況が続いております。本稿執筆時は第5波の最中

であり、今後ワクチン接種等の対策が功を奏してコロナ禍が収束に向かっていることを祈るばかりですが、情勢が落ち着けば、再び消防団の皆様と手を携え、地域の安全・安心のための諸施策を推進していきたいと思えます。引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

経歴

平成3年4月東京消防庁入庁、消防署(小石川、西新井、矢口、本郷、荻窪、新宿)、本庁(防災課、警防課)、内閣官房安全保障・危機管理室派遣、警防部副参事、警防部特殊災害課長、矢口消防署長、本郷消防署長を経て、本年4月に深川消防署長に就任。



地域防災担当課長
消防司令長
古木 康友

この度、地域防災担当課長に就任いたしました古木と申します。日頃から地域の安全・安心を守るためご協力いただき誠にありがとうございます。

地域防災担当課長は、地域住民を対象とした防火防災訓練、災害時支援ボランティアや消防少年団の育成、幼稚園児から大学生を対象とした総合防災教育、住宅用火災警報器や家具転倒防止器具の普及などが主な業務となっております。これらは、地域住民の防火

防災行動力を高め、災害に強い街作りを目的とした取り組みであり、深川消防団も含めた地域の方々と連携して推進しなければ達成できないものと考えております。

さて、江東区は、私の母親の出身地であり、また、私自身は深川消防署に平成13年4月から2年間救急隊長として勤務させていただいた親しみある町であります。地震や豪雨などの自然災害や火災などから地域住民を守るため、深川消防団の皆様にご指導とご支援をいただきながら、尽力したいと考えております。

経歴

平成3年4月 東京消防庁に入庁
平成3年12月 足立消防署に拝命
その後、大井消防署、救急管理課、深川消防署、総務省消防庁派遣、救急指導課、豊島消防署、豊島区派遣、西新井消防署、第2消防方面本部を経て、本年4月深川消防署地域防災担当課長に就任。



防災安全係長
鈴木 浩二

令和3年4月1日付で防災安全係長を任命されました。

伝統ある深川消防署と深川消防団に携われることを誇りに思います。昨年からは新型コロナウイルス感染症

拡大の影響に伴い消防団活動を縮小せざるを得ない現状であり、士気の低下を危惧しているところです。

今後、更に消防署と消防団の連携をより一層充実させ消防団員の活動能力を向上させ、地域住民等の防火防災力の向上のために全力で努めてまいります。

また、消防団員の方が活動しやすい環境づくりに努めてまいりますので、よろしくお願いたします。



深川消防署
2部中隊長
佐藤 賢一

今年4月から消防団担当となりました、2部中隊長の佐藤です。久しぶりの消防団担当となりますが、一日も早く業務をこなせるように尽力していきたいと考えています。皆様と一緒に良い活動ができるように頑張りますので、よろしくお願いたします。

(令和3年4月1日付)



深川消防署
3部化学小隊長
増本 壮浩

今年4月の異動で消防団担当となりました、3部化学小隊長の増本(ますもと)です。はじめての担当業務となりますので、何かとご指導いただきたく思います。皆様と一緒に頑張りますので、よろしくお願いたします。

(令和3年4月1日付)



深川消防署
2部1小隊長
天摩 将太

今年4月より消防団担当となりました。2部の天摩(てんま)と申します。出身は、青森県の八戸市です。上京12年目の30歳です。初めての担当で至らない点もあるかと思いますが、深川の防火防災の為に消防団の皆様と一致団結して頑張っていく所存ですので、宜しくお願い致します。

(令和3年4月1日付)



深川消防署
2部化学小隊長
青木 裕輔

10月に八王子消防署から転入してきました。青木です。久しぶりの消防団担当ですので至らない点も多いかと思いますが、皆様と一緒に頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。

(令和3年10月1日付)



深川消防署
1部1小隊長
田村 昂輝

今年10月から消防団担当となりました。1部の田村と申します。初の担当

業務で至らぬ点もあるかもしれませんが、よろしくお願ひします。また、コロナ禍ということもあり消防団の活動も少なくなっていますが、皆さん一緒に頑張っていきたいと思います！

(令和3年10月1日付)



深川消防署
3部1小隊長
関 直大

今年2月から消防団担当となりました。3部の関と申します。年齢は28歳、出身は神奈川県です。団担当は初めてですが、皆様と共に深川の町を守るために精いっぱい頑張りますので、よろしくお願いいたします。

(令和3年2月1日付)



深川消防署
3部はしご小隊長
見付 稔

今年4月から消防団担当となりました。3部の見付(みつけ)と申します。年齢は25歳、出身は青森県です。消防団の方々が活動しやすい環境をつくるために精いっぱい頑張ります。よろしくお願いいたします。

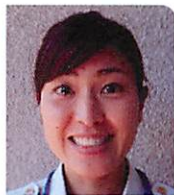
(令和3年4月1日付)



深川消防署
1部1小隊長
伊藤 勇太

今年4月から消防団担当となりました。1部の伊藤と申します。年齢は29歳、出身は埼玉県です。団担当は初めてなので、至らない点が多々あるかと思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。コロナ禍で大変な時期ではありますが、ウイルスに負けずにお互い乗り切っていきたいと思います。

(令和3年4月1日付)



深川消防署
警防課防災安全係
鬼塚実奈子

今年2月から防災安全係(消防団担当)となりました。毎日勤務の鬼塚(おにつか)です。名前のとおり自宅では鬼嫁鬼母と化して子育てと仕事に励んでいます！

コロナ禍でなかなか皆様とお会いする機会がなく残念ですが、団の皆様の活動が円滑に進むよう、頑張ってください。ですので、よろしくお願ひ致します。深川の安全安心を一緒に守っていきましょう！

(令和3年2月1日付)

令和3年度 東京消防庁出初式に参加して

令和3年1月6日(水)東京臨海広域防災公園において、令和3年度東京消防庁出初式が挙行されました。しかしながら、コロナウイルス感染拡大に伴い、無観客で行われました。

深川消防団からは、昨年度第9分団に配置された可搬ポンプ積載車と、第6分団長谷川分団長、富田団員、第9分団石山副分団長、岩淵部長が参加しました。

機械部隊分列行進では、第9分団の可搬ポンプ積載車が行進に参加しました。また、消防団活動では、大地震による大規模火災が発生したとの想定で、救助活動訓練に参加しました。

感染症対策を施した感染防止衣を着装し、女性団員で結成された応急救護部隊として担架搬送を実施しました。深川消防団では、女性団員だけの火災出場は一度も経験したことがありません。しかし、「実際に大規模な災害や平常時に災害が起きたら？」と思うと、貴重な経験ができたと思いました。

当日は、会場内に入れないからと、第9分団本部施設まで平山団長が激励に来てくれました。また、消防署員の丁寧な指導もあり、安心して参加することができました。



(第9分団 岩淵)



2分団

オリンピック史上初めての無観客はどの様に開催してるのか興味津々でした。自衛隊も出場して徹底した車両検査を実施。カーニバル競技を離れた位置でみるのができ感無量でした。



2分団

今回、救護等を行うことはありませんでしたが、警戒本部の連絡系統・時系列表の記載内容など学ぶことがあり、今後の団活動の参考としていきたいと思います。

江東区で一番新しい町「海の森公園」で行われました。総合馬術クロスカントリー競技に正本副分団長、山鹿部長、石田団員3名の精鋭が警戒にあたりました。



4分団

自衛隊員に身体チェックをされてからの入場となり、オリンピックの厳重な警備態勢に背筋が伸びました。程よい海風が吹いていたので熱中症のトラブルもなく終了となりました。



4分団

2020 オリンピック 警戒



5分団

8月1日、有明テニスの森に警戒出場。オリンピックが普通に開催されていたら暑さと合わせてどれだけ大変な警戒だったのかと思いながら巡回をしました。

有明アーバンスポーツパークでの警戒。開始早々に雨と雷鳴が轟き屋外競技のBMXは一時延期。再開後激しい競技であるBMXの選手に怪我が無いようにと、祈りながらの警戒であった。



7分団

無観客という特殊な状況での警戒でしたが、とても良い経験をさせて頂きました。消防署の救急隊の対応ですが、救急搬送のやり取りを目の当たりにしてとても勉強になりました。



7分団



9分団

コロナ禍で大変な中でも、選手が自分の目標に向かい、懸命に競技に挑む姿はとても美しく感動的でした。私も今できる事を頑張っ、消防団活動に貢献していけたらと思いました。



9分団

長年時間をかけて準備してきた、オリンピック警戒が無事に終わりほっとしました。消防団としてかかわれたことを嬉しく思います。この経験を生かし、今後の消防団活動に邁進して参ります。



1分団

有明アリーナでの女子バレーボール準決勝が今しがた終わったよという引継ぎを受け、ちょっとガッカリした気分を引きずりながら、試合のない森閑とした館内の警戒でした。



1分団

有明アリーナで女子バレーボールの試合を警戒するとともに、実際の試合も少し見ることが出来ました。警戒終了後は有明周辺を少し散策。オリンピックの雰囲気を感じることが出来ました。

コロナ禍、酷暑の中2分団から引き継ぎ、海の森カヌー競技場で無事警戒活動を終了しました。消防団員として夫婦で参加することができよき思い出となりました。



3分団

決勝レースもあり、自衛隊等の検査があり厳重警戒の中で行われ、消防団活動の中で生涯忘れられない経験になりました。



3分団



5分団

コロナ禍で無観客開催となり特別な緊張感をもって警戒に当たりました。有明テニスの森付近はオリンピックの雰囲気と皆の熱気に溢れ、忘れられない経験となりました。

東京 オリンピック・パ

8月1日、有明テニスの森にて警戒にあたりました。事前の予定では、11～20時の長丁場でしたが、参加選手から酷暑中のプレーに異議がでて、開始時間は15時に変更されました。



6分団 特別

8月30日、有明アリーナでパラバスケットの警戒にあたりました。建物の内側には木材を多く使用し、形状も美しい施設でした。今後の有効活用に期待です！



6分団



8分団

多くの日本人が活躍した記念すべき大会となりました。無事警戒活動を終える事ができました。今までの消防団活動の中でも特別かつ貴重な経験となりました。



8分団

私が長年住んできた江東区。以前と比べて、あまりにオリンピック会場の周囲の建物や景色の変貌が激しく、江東区内で警戒している実感がわきませんでした。

オリンピックでは消防団！
パラリンピックでは聖火ランナー

東京2020オリンピック・パラリンピックが無事閉幕しました。

コロナウイルス感染症蔓延に伴い、開期が延長し1年間この日を待ち待っていました。

準備期間中は、JPTEC講習での応急対応、ベルリッツの英語講習、手話講習など色々なことにチャレンジし準備をしました。万全を期しての対応訓練でしたが、緊急事態宣言に伴い無観客での開催。

オリンピック警戒で初めて入る有明アリーナでは、世界の大会が行われていると思うととても緊張しました。無線を携帯し、消防職員の方と田島第10分団長と巡回。熱戦が繰り返されている大会の、無事故、安全を願いながら警戒をしました。無事故で警戒は終了しましたが帰宅途中、事故現場に遭遇。すぐに警備していた警察官、有明分署と連携し、救急車がくるまで止血などの初期対応をしました。警備終了後のため、装備品が無く手持ちのもので代用して対応しましたが、日頃応急救護訓練で教わったことを実践することができ、事なき終えました。深々と、「助けてくれてありがとう」と言われ消防団としての責務を果たせたと思うとほっとし帰路につくことができました。

そして、パラリンピックでは「聖火リレーのランナー」として参加させて頂きました。走行確認の連絡がきた時は本当に驚きました。コロナ感染症蔓延化での走行に迷いましたが、「人生で二度とないチャンス！」頑張ってみよう

とすぐに決意しました。あらためて、パラリンピックについて勉強。聖火リレーのコンセプト「Share Your Soul」「あなたは、きっと、誰かの光だ」とのコンセプトに感銘を受け、また、トーチが東日本大震災での復興仮設住宅での廃材から作られていて、人を見守ってきた廃材が新たに姿をかえ人と人が出会うトーチに変わったことを知り、多くの方の思いがこの聖火リレーにまつているんだ、是非やらせて頂こうと思いました。当日は、規模縮小での開催ではありましたが、晴天に恵まれ色々な方と出会いご縁を作らせて頂きました。パラリンピックということもあり、障害を抱えている方、また介護、福祉、教育などに携わり支援している方も多くいました。しかし、だれもが多くの苦しみを胸に抱えていても顔には出さず、前へ前へと歩みを進めている。「出来ないことは多くあるけれど、どうやったらできるのか？をいつも考えています」という話を多く聞き、ただ、「すごいな...自分...」と思わされるばかりでした。無事に走行を終え、ほっとした時、「絶対に忘れない、この一日を！」と思いました。深川の町を自分たちの手で守る消防団として、堂々と、また強く誰かの支えとなるように、この夏に経験した思い出を忘れることなく日々訓練に精進してまいります。

(第9分団 岩淵 初美)



消防少年団（事務局）

深川消防少年団では、現在新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、全団員が集まってしまう活動ができません。状況となっています。このような中でも、少年団員の知識、技術を向上させるため、団長や指導者、職員が協力し合って訓練用DVDを作成し、自宅において家族と一緒に楽しみながら包帯法、地震教養、心肺蘇生法を学べるようにし、進級試験でもその活用を図りました。また、今年度は夏期に合わせ、6月は「水害について知ろう！」、7月は「家族と一緒にマイタイムラインを作ろう！」、8月は「地震に備えよう！自宅にあるもので地震時の献立を作ろう！」などの課題による自宅学習を行いました。9月は、特別養護老人ホームの塩浜ホームと江東ホームで鼓笛演奏を実施する予定でしたが、残念ながら、更なるコロナの感染拡大により中止せざるを得なかったため、敬老の日を前に、少年団員からの熱いメッセージをマスクに添えて、職員が消防少年団員に代わりホーム入居者に届けました。メッセージには、「今年は鼓笛を披露することができませんが、来年は皆さんに聴いて欲しいです！」「来年こそはコロナがおさまり皆様に会えることを楽しみにしています！」「来年こそは、七夕飾りを持って行けることを信じ、コロナの終息を願って感染防止に努めていきますよ！」「など、団員の願いや優しさがたくさん詰まった贈物となりました。



消防団協力事業所

弊社は、防火・防災に積極的に取り組んでいます。

<https://www.teikoku-soko.jp/> E-mail:info@teikoku-soko.co.jp
PHONE.03-3642-0121 FAX.03-3641-1763

TEISOH 株式会社 帝国倉庫
〒135-0024 東京都江東区清澄 1-5-1

消防団協力事業所



株式会社 **ムトウユニパック**

代表取締役 会長 武藤佳資

私たちは、本社ならびに各事業所を通じ、地域社会への貢献を目指しております。



本社 / 東京都江東区永代 1-7-12 TEL 03-3642-1141 (代表)
<https://www.mutoh-u.co.jp/>
支店 出張所/東京中央・東京西・城南横浜・千葉・さいたま・栃木・前橋・新潟・大阪

八名川地区連合町会合同防災訓練

令和3年3月7日(日) 区立八名川小学校体育館において、八名川地区連合町会合同防災訓練が行われました。

来賓者には、山崎江東区長はじめ、高崎前深川消防署長、平山消防団長、区議会議員の方々にお越しいただきました。

本来なら、多くの方々に参加していただくところ、感染防止対策を徹底したため最低限の人員で訓練を実施しました。

訓練内容は、各町会とPTAの方により、災害時の指定避難場所に配置されたテントの組立て訓練でした。このテントは、コロナ禍の状況でも、避難時の感染予防やプライバシーの保護ができるようになっており、各避難所に52張り組み立てることができました。

実際に参加された方は、本番さながらに取り組んでいました。

このような訓練は非常に大切ですが、実災害がないことを祈りたいです。

(団本部 赤澤 光幸)



はたらく消防の写生会

『はたらく消防の写生会』が、4月26日に東川小学校、5月11日に墨東特別支援学校で行われました。

両校とも第1分団の管轄区域にあり、深川消防署森下出張所より消防車両1台が、深川消防団からは、第2分団の可搬ポンプ積載車が参加しました。

東川小学校では、2年生の児童が消防車両や防火服を着た消防士を思い思いに描いていました。

また、墨東特別支援学校では、撮影した写真をもとに写生することのできる消防士の話に耳を傾け、消防車を見学していました。

このような行事も今では、地域防災に欠かせないものとなっており、来年で降も楽しい写生会が開催できればと思っています。

(第1分団 宮島 慎一)



第7分団新分団施設地鎮祭

長年待ち続けた第7分団の分団本部施設の着工が8月中に決定となりました。現在まで、第7分団には分団本部施設がなく木場の各町会事務所や近隣マンションの会議室等をお借りしながら、様々な防火防災の警戒にあたりてきました。

緊急事態宣言中であり、地鎮祭の実施を悩みましたが、工事の安全と地域の防火防災のために、実施することとなりました。

地鎮祭を行うにあたり、様々な諸事情がありましたが、元団員や現団員による準備を1週間で行うことになりました。

令和3年8月28日(土) 正午、建築する土地の氏神様である富岡八幡宮にお願ひし、酷暑の中ソーシャルデイスタンスを取り、最小の人数にて無事執り行うことができました。

結びに、これまで第7分団本部施設

にご尽力頂いた皆様
の一方ならぬご厚意
に深く御礼申し上げます。

(第7分団

藤田 享子)



消防団協力事業所

弊社の社員も消防団員として
活動しています。

社員一人ひとりが、防火・防災の知識・技術の向上に
取り組んでいます。

ご宿泊・ご婚礼・ご会合等、お気軽にお問い合わせください。



オークラホテルズ&リゾーツ
ホテル イースト21東京

〒135-0016 東京都江東区東陽 6-3-3
03-5683-5683 (代表)
www.hotel-east21.co.jp

消防団協力事業所

「大震災はいつ起こるか
分からない」

丸八倉庫株式会社

江東区富岡 2-1-9

HF門前仲町ビルディング4階

令和3年春の叙勲受章者紹介



令和3年4月29日
春の叙勲 瑞宝単光章 受章
元分団長 勝山 瑳登志様

この度、叙勲(瑞宝単光章)の栄に浴し身の引き締まる思いであります。新型コロナウイルスの感染拡大により、残念ながら拝謁は中止となりましたが、去る6月8日消防総監より勲記、勲章の伝達を受けました。これもひとえに長年に亘って皆様より戴きました御指導、御支援の賜と深く感謝申し上げます。

表彰者の紹介

令和3年3月10日
消防庁長官章 受賞

副団長 赤澤 光章

令和3年3月5日
日本消防協会会長 受賞

功績賞 分団長 木本 英昌
勤続賞 副分団長 飯田 貴司

●東京2020
オリンピック・パラリンピック
令和3年9月24日
消防特別警戒に対する消防総監賞 受賞

深川消防団

◆東京都消防協会長

- 〈功績表彰〉(2名)
- 第6分団 分団長 長谷川 惠津子
- 第9分団 副分団長 石山 一美
- 〈優良表彰〉(6名)
- 第5分団 副分団長 山田 英之
- 第7分団 副分団長 樋口 博之
- 第3分団 部長 堀田 勝彦
- 第5分団 部長 小原 信俊
- 第6分団 部長 山本 香代子
- 第6分団 部長 岡野 弘之

令和3年 退団者

- 団本部 団員 篠塚 武昭
- 団本部 団員 高木 健太
- 第4分団 団員 大竹 洋誠
- 第6分団 部長 大熊 大介
- 第7分団 班長 宇田川 新一
- 第7分団 班長 小沢 浩一郎
- 第8分団 団員 龍島 一匡
- 第8分団 団員 赤池 知優
- 第8分団 団員 波田野 直道
- 第5分団 団員 加藤 宏

オリンピック・パラリンピック
消防特別警戒を終えて(有明分署)

令和3年7月23日、ついにオリンピックが始まった。

有明地区は8つの競技会場を抱えており、各会場の建築から検査を経て完成まで非常に長い道のりでした。さらに会場スタッフに対する自衛消防訓練はとて大変でした。有明分署は大会の拠点として位置付けられ、警戒資器材の集結・配布、他消防署の職員の休憩・宿泊の受け入れなどで非常に苦労しました。

また、大会は無観客開催であったため警戒規模は縮小されましたが、各会場とも連日警戒は実施されました。酷暑の中、消防団の方々にもご協力いただき大変ありがとうございました。

最後に救急車の適正利用のお願いです。『自分の大切な人が、もしもの時、救急車を使うように適正な利用を心がけましょう。』



編集後記

東京オリンピック・パラリンピックが閉幕し、令和3年度も終わりに近づいています。皆様はどのような1年を過ごされたでしょうか。

コロナ禍で日常生活が制限され、仕事や学業が思うように進まなかった方も多いと思いますが、こゝと深川地区においては富岡八幡宮例大祭をはじめ多くの祭りや行事が開催されず、寂しい思いをされた方も多いと思います。

そのような中でオリンピック・パラリンピックが無観客ではありましたが開催され、多くの選手活躍がテレビや新聞の紙面を賑やかせました。開催については色々な意見があったかと思いますが、選手たちの競技に取組む姿勢や、勝ち負けを超えて互いを励ましたり選手たちの姿に感動を覚えた方は少なくなかったかと思えます。深川消防団もオリンピック・パラリンピックの警戒に参加し、微力ながら同大会に貢献できたことをうれしく思います。

特別な年は終わり、来年度も感染拡大やそれに伴う行動制限等が心配ではありますが、少しでも早く元の生活に戻り、以前と同じような日常に復帰できることを願ってやみません。

(第1分団 中村 哲也)